



門高通信

～平成 29 年度第 5 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ:<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~monzeh/>

メールアドレス: monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



インターンシップ!!

7月25日から27日にかけて様々な場所でインターンシップを実施させていただきました。生徒は慣れない環境に緊張しながらも、学校ではできない貴重な体験を通して様々なことを学んでくれました。ご協力いただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。

2年1組 南口 純菜 (門前中学校出身)

私は歯科衛生士に興味があって、インターンシップでマルト歯科さんに行きました。実際にお客さんと関わったり器具をさわったりと、そこでしかできない事をたくさん経験させてもらいました。今回は私には簡単な言葉で説明などをしていただきましたが、職場の方々は難しい専門用語や知らない言葉を使っていて、少し難しいと感じました。実際に抜歯をするところを見せてもらったり、入れ歯だったりときれいとは言えないような仕事もありました。憧れているだけでは良いところしか考えられませんでした。実際に経験をしてみて、こういう仕事なんだと体験することができました。良い経験ができてよかったです。



奥能登地区PTA生活指導連絡協議会!

8月4日、奥能登地区PTA生活指導連絡協議会が開催されました。多くの保護者の方々のご参加、誠にありがとうございました。



いよいよ、門高祭!

9月2日(土)に門高祭が開催されます!今年のテーマは「逢～さまざまな出逢いに感謝して～」です。

合唱コンクールやコスプレ大会、模擬店など様々な企画がありますので、皆様ぜひお越しください。

生徒一同、現在懸命に準備中です!

体験入学!

8月1日、40名の中学生を迎えて体験入学が開かれました。吹奏楽部の演奏で始まった歓迎のセレモニー後、体験授業、部活動体験の日程で行われました。生徒会が中心となり体験入学を進行し、また、部活動体験だけではなく体験授業の補助の他、中学生の案内など、門前高校生が大変活躍していました。



理科の実験の様子



中学生に演奏方法を教える門高生



7～8月の各部活動の様子！

夏休みの間に様々な大会がありました。

各部日頃の練習の成果を発揮すべく、懸命に試合に臨んでいました。また、吹奏楽部は門前中学校と合同で施設訪問や定期演奏会等に参加しました。秋の新人大会に向けて各部、さらに気合を入れて頑張っていきます！



男子バスケットボール部



吹奏楽部



夏期補習、実施！

夏休みですが、各学年で夏期補習が行われています。

3年生の就職希望者には面接指導が行われました。慣れない雰囲気、緊張していた様子でした。しかし、普段猫背の生徒が、終わる頃にはちゃんと背筋を伸ばしている様子がとても印象的でした。



先輩と語る会、実施！

「連携型中高一貫」の行事の一環で、7月18日、門前中学校で「先輩と語る会」が行われました。本校からは2、3年生9名が招かれました。

高校生は自己紹介やグループワークを通じて中学生に本校の魅力を発信しました。中学生にとっては、進路選択の良い参考となりました。



9月行事予定

- 1日 始業式、交通安全指導
- 2日 文化祭
- 6日 体育祭(7日予備日)
- 11～15日 ゲットマナーキャンペーン
- 15日 交通安全指導
- 22日 自転車乗車マナー指導
- 25日 後期生徒会役員選挙

この夏も、二年生を中心に町内十九の事業所で「インターンシップ」が行われました。期間中に何軒かの店へお邪魔した際、生徒が「いらっしやいませ」「ありがとうございませ」と声を掛けてくれるなど、何人もの頑張っている姿を見ることができました。

インターンシップは、自分の希望する職種であってもなくても、様々な仕事を体験することでその仕事内容を理解し、自分の進路選択の参考にするために行うものです。自分や友達の経験を参考にしたり調べたりして、自分の知識・技術・コミュニケーション能力を発揮できる場を見つけ、将来のミスマッチや早期離職を防ぐ手だてとして非常に有効です。

また、インターンシップは、世の中の様々な職種を知れる機会でもあります。人が生きていくうえで必要な「衣食住」(衣料、食事、建築)や、今回生徒が経験した以外にも、医療、理容美容、行政など様々な分野があり、どれを欠いても日常生活が成り立たないものばかりです。まさに「職業に貴賤なし」です。

ところで、高校生は中学生の時より学習量や経験値が増えていくはずですから、「わくわく」の時より事業主の要求水準が高いのは当然です。上司からの声かけや指摘は、皆さんには時には「厳しい」と感じる場面があったかもしれませんが、それはプロフェッショナル予備軍として最低限備えておくべきものなのです。

AIの台頭により、将来は人間の労働領域がどんどん狭くなるのが予想されます。しかし、どんな環境にあっても、生徒がさらに自分を鍛え、社会にとって「必要とされる人材」に育っていくことを願って止みません。

インターンシップ 教頭 長田 弥十雄

